

# 福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋およびプロセス主建屋 ゼオライト土嚢等集積作業の進捗状況

< 参 考 資 料 >  
2025年3月26日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 事故直後、高温焼却炉建屋（HTI）およびプロセス主建屋（PMB）で受け入れた滞留水の放射性物質を吸着すること等を目的に、ゼオライト土嚢と活性炭土嚢（以下、ゼオライト土嚢等）をHTIおよびPMBの地下階に敷設しました。
- HTI・PMBのゼオライト土嚢等の回収に向けて、2022年10月から集積作業に関するモックアップを実施し、本日（3月26日）午後1時06分、HTIにおける集積作業に着手しました。
- 本日は、地下階に投入した集積作業用ROV（Remotely Operated Vehicle）にて、ゼオライトを吸引し、集積場所への移送を実施しております。
- 現場は、高線量かつ暗く狭く、地下階で障害物が多く存在する厳しい環境下であることから、事前に十分な安全対策と被ばく抑制対策を講じたうえ、安全最優先で集積作業に取り組んでまいります。



<HTI1階に搬入した集積作業用ROV（地下階投入前）>  
（3月5日撮影）



<集積作業用ROV 遠隔操作室の様子>  
（3月26日 午後1時35分頃撮影）

## <参考> ゼオライト土嚢等の回収作業の概要

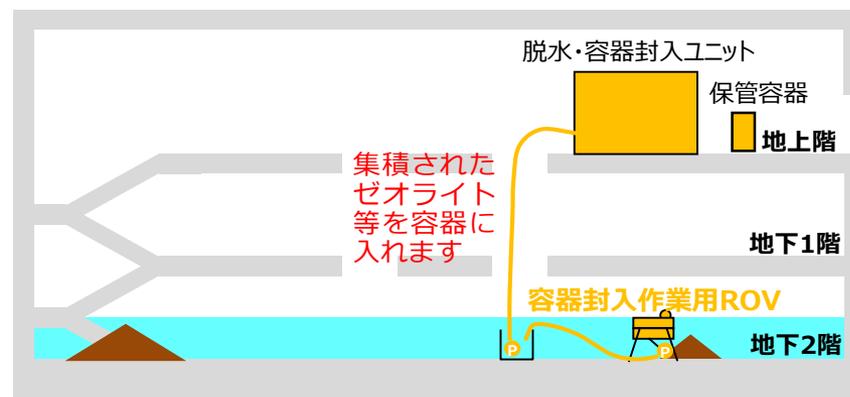
- HTI・PMBの地下階のゼオライト土嚢等の回収は、作業の効率化による工期の短縮を図るため、回収作業を“集積作業”と“容器封入作業”に分けて実施します。
- なお、土嚢袋は劣化傾向が確認されており、袋のまま移動できないことから、“集積作業”と“容器封入作業”ともに、中身のゼオライト等を滞留水とともにポンプで移送する方式を基本とします。

### 集積作業

- ✓ 集積用の作業用ロボット（以下、ROV）を地下階に投入し、ゼオライトを吸引し、集積場所に移送します。
- ✓ 集積作業に向けて、階段に敷設されている活性炭土嚢は、水流を用いて、遠隔で地下階に落とし込みます。

### 容器封入作業

- ✓ 集積されたゼオライトおよび活性炭を容器封入作業用のROVで地上階に移送し、建屋内で脱塩、脱水を行ったうえ、金属製の保管容器に封入します。その後、33.5m盤の一時保管施設まで運搬する計画です。



現在実施している作業

